

令和元年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	もくせいの苑		施設番号	K 191
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年3月31日時点)
チーム ケア向上 について	職場のモチベーションとやる気につ ながる職員評価を導入して、職員間 の意識や高まり、チームケアの向上 に活かしたい。	働きやすい職場作りを検討。 職員個々に活動目標を定め、本人と 上司が面談を行い、評価に結び付け る。	1 実施済み ② 実施予定(令和2年12月ご ろ) 具体的には以下のとおりです。 管理職と中間層及び一般職員と の面接を実施。現状で評価までに 結び付けるにはハードルが高いた め、施設内でのコミュニケーション を行う。目標管理を何名かの職員 には実施したい。	① 実施済み (令和2年12月) 具体的には以下のとおりです。 生活援助課長にて、2階・3階・4 階のフロア主任及び常勤職員、 非常勤職員とチームケアについて 面接を実施する。 各フロアにて、短期目標を設定 し毎月評価を行う。目標について 理解の出来ていない職員につい ては、目的等について個別に指 導を行う。
サービスの 質の向上 について	風通しの良い職場環境を目指して、 報・連・相やコミュニケーションの 充実等を図り、利用者本位のサービ スの質の向上に取り組む	申し送りや記録類の閲覧・確認等で 共有を図っているが、職員体制の関 係で各階でのフロア会議はなかなか 実施できない状態にある。小ミーテ ィングに切り替えての実施や主任中心 にフロア会議をまとめr等様々な対 応・対策を講じてはいるが、よりサー ビスの質の向上に結び付かない	1 実施済み ② 実施予定(令和2年 12月ご ろ) 具体的には以下のとおりです。 生活援助課課長を主導にフロ アの統一したサービスの実施の 方向性を検討する。	① 実施済み (令和2年9月) 具体的には以下のとおりです。 施設全体で決められたサービス、 また2階・3階・4階の各フロアに よって取り決めているサービスに ついて、情報共有・周知が不十分 であったため、毎月実施している 主任会議・運営会議にてサービ スの質の向上について検討を行 い、各フロア会議も定期的に開催 することとなる。
利用者主 体のケア について	職員個々の支援に対する思いがv一 体になり、達成感や楽しみを共有し、 チームとして更に機能したい。	職員は利用者の考えや気持ちを汲 み取るよう、表情や言動の変化に 気を配り、細やかな対応をし、今で きることは何か、職員が個々に模索し ながら、主体的な行動に繋げられる よう職員個々の支援に対する思いが 一体になり、達成感や楽しみを共有 し、チームとして更に機能するよう期 待したい。	1 実施済み ② 実施予定(令和2年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 各フロアでのホウレンソウの実 施を行い、統一したケアを目指し ていく。	① 実施済み (令和2年4月) 具体的には以下のとおりです。 「個々に合ったサービスの提供」 の事業目標達成に向け、職員一 人一人が現在のケアについて、ご 利用者様の状態にあったケアが 実施できているか、常に考えて行 うよう指導を行う。各フロア主任が 主体となり、様々な意見、提案を 検討を行い実施し、検討した内容 を周知徹底し統一したケアを実践 した。

※この様式は、「令和元年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。